

公開講座開催レポート

「異文化マネジメント研修」 ～外国籍社員活用において求められる能力とは？～

グローバル人材戦略研究所（東京都・港区）は外国籍社員の受け入れをしている職場の上司の方や受入担当者が1名から参加できる公開講座「異文化マネジメント研修」を定期的を開催しています。

本レポートでは2016年7月開催内容のご紹介をします（各回とも同一内容です）。

■日時：2016年7月7日 10:00-17:00（2016年は3月・7月・9月・12月に開催）

■テーマ：「異文化マネジメント研修」

～外国籍社員活用において求められる能力とは？～

■背景：日本企業で働く外国籍社員の離職の主な原因として「役割が不明確」「フィードバックがない」「キャリアが見えない」という三大不満があります。また、外国籍社員の活用を阻むものとして「社会システム・人事制度などの一般適応」「社内外におけるコミュニケーション等対人適応」「キャリア等の職務適応」の「3つの壁」に直面している現状があります。

■目的：本研修では、参加者が外国籍社員に向き合う際の自らのマネジメント方針を持論・アクションプランとしてまとめ、日々の実践に繋げることをゴールとします。

- ・外国籍社員の職場への受け入れ・活用・育成に関する背景、上司・メンター等受入担当者に求められる能力を理解する。
- ・マネジメントに必要なフィードバックと相手から提案を引き出すテクニック（対話の技術）を学習し身につける。
- ・方針を持論としてまとめ、日常業務において異文化マネジメント能力を向上させる。

■参加者コメント（一部抜粋）：

「納得できる解説で、十分うなずける内容・知識だった。（自動車）」

「弊社内でも、本日学んだフィードバックなどを参考にし、やり方の改善が出来ればより有効に機能していくと感じた。（化学）」

「外国籍社員と日本人社員のコミュニケーションに関して理解しているつもりであったが、まだまだ多くの気付きがあった。（化粧品）」

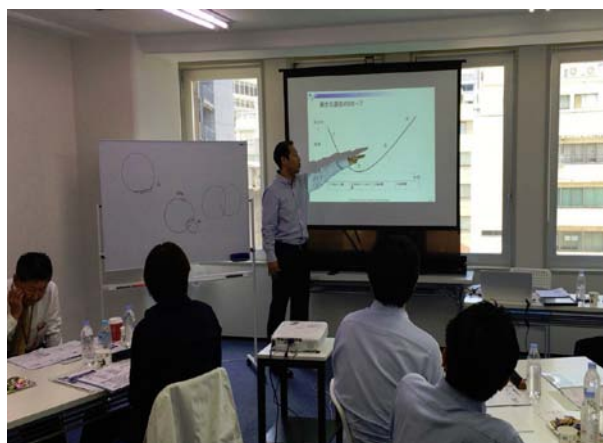
「外国籍社員に限らずマネジメントのノウハウ学習となったことが有益だった。（小売）」

「理論と実践の両立がされている研修だったため、とても参考になった。（生活関連サービス）」

「“マネジメント力を高めること”という今まで何度も聞いてきた言葉について、本当の意味で理解することができた。（電機）」

「マネジメントに関して普段行えていること、行えていないことを含め文学化して整理していただいたことで、自らの改善点などが明確になった。（通信）」

「自分だけでなく、現場のスタッフ(OJT)にも何をポイントとして伝えるべきか具体的なことを学べた。また、ほかの受講者の方のお話も非常に参考になった。（旅行）」



■プログラム：

午前		午後	
テーマ	学習内容	テーマ	学習内容
オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・講師、参加者自己紹介 ・進め方紹介 	上司に求められるマネジメントテクニック② 「違い」への対応	<p>■部下と信頼関係を構築し、業務遂行を果たすための「違い」への対応について学ぶ／望ましい行動を強化・徹底し、結果を出すための考え方・コミュニケーション技術を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違いを価値に変える6段階 ・フィードバックの技術 ・フィードバックロールプレイ
課題整理・共有	<p>■外国籍社員受入にあたっての課題整理と共有を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフライン(仕事をする前提の一般適応) ・コミュニケーション(組織文化理解、上司・同僚との関係などの対人適応) ・キャリア(評価方法などの職務適応) ・リスクマネジメント(病気、機密保持への対応などの危機対応) 	上司に求められるマネジメントテクニック③ 「違い」を価値創造に変える	<p>■部下と互いに提案し合える関係構築のための考え方・技術を身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話技術 ・対話ロールプレイ
上司に求められるマネジメントテクニック① 「違い」を理解する	<p>■国、社会背景、職場における発想・アプローチの「違い」を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論点の違い ・仕事観を把握する ・国別・回答傾向 ・外国籍社員が嫌う上司の言動 ・会話タブーへの備え ・「分かる」の3分類 ・上手な聞き方、話し方 ・日本人による日本語注意点 ・多様な人材育成手法 	マネジメント持論作成	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントに向けての方針を持論・アクションプランとしてまとめ日々に実践に繋げる。 ・発表 ※持論シートを作成します。 ・まとめ

◆参加実績企業(順不同)

日産自動車株式会社 住友重機械工業株式会社 住友電気工業株式会社 コクヨ株式会社
KDDI 株式会社 日本通運株式会社 住友化学株式会社 サントリーホールディングス株式会社
JFEスチール株式会社 東洋エンジニアリング株式会社 株式会社LIXIL
三菱日立パワーシステムズ株式会社 ソニー株式会社 SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
帝人株式会社 三菱化学株式会社 近畿日本ツーリスト株式会社 日本信号株式会社
新日鉄住金ソリューションズ株式会社 富士ソフト株式会社 三井住友信託銀行株式会社
株式会社ユニバンス 富士通株式会社 ブラウンブラザーズハリマン証券株式会社 株式会社日立物流
ハウス食品グループ本社株式会社 日本コルマー株式会社 日鉄住金物産株式会社
藤田観光株式会社 株式会社コロワイドMD トップラン・フォームズ株式会社 横河電機株式会社
ヤマハ発動機株式会社 タイムズモビリティネットワークス株式会社 日本電気株式会社
富士電機株式会社住友化学株式会社 株式会社カネボウ化粧品 マツダ株式会社
三菱航空機株式会社 株式会社ニトリホールディングス 株式会社ダスキン
株式会社エイチ・アイ・エス 東武トップツアーズ株式会社 アンリツ株式会社

グローバル人材戦略研究所

代表者：小平達也

所在地：〒106-0031 東京都港区西麻布 1-14-5

URL: <http://ja-sol.jp/>



「世界で通用する人づくり、組織づくり」をテーマに活動。クライアントは化学、電機、機械、建設、食品、小売、総合商社、サービス業、官公庁、教育機関等、日本を代表する大手企業を中心に多岐に渡る。グローバル人事制度・人材育成体系の設計ほか、マネジメント研修を日本語、英語、中国語の3カ国語で提供し、参加者の出身国は25カ国以上に上る。

[本件に関するお問い合わせ先]

サービスサポート担当 加藤

TE : 03-3403-0528

Email : sales@ja-sol.jp

参加無料・先着15名様

外国籍社員を部下に持つ上司・メンター・関係者向け研修の定番！
3大不満（役割不明確、フィードバック不足、キャリア不安）に対応

国内の職場で
外国籍社員を
部下にもつ
管理職
受入担当者
メンター等

異文化マネジメント研修 (外国籍社員受入職場の上司・担当者向け研修)

公開講座として開催

・外国籍社員を部下に持つ上司・メンター・関係者向けの研修として定番で、今まで企業内研修に限定されていた研修がこの度、1名単位で参加できる公開講座として開催されます。

「外国籍社員の活用を阻む3つの壁」に対応

・日本における外国籍社員の活用を阻むものとして「社会システム・人事制度などの一般適応」「社内外におけるコミュニケーション等対人適応」「キャリア等の職務適応」の「3つの壁」がありますが、これらに対応した内容です。

「指示の徹底」と「自主的に動いてもらう」

・海外出身のため歴史、宗教、文化等異なる立場、発想のメンバーに対し、各種ハラスメントにならない、または反感を買わずに指示を徹底させ、また自主性と提案を引き出すコミュニケーションテクニックを、学びます。

理論と実践で身につける

・グローバルマネジメントの理論（違いを価値に変える6段階理論）と事例紹介により体系的に学べます。講義、個人ワーク、グループワーク、ロールプレイ、クラス共有、解説を通じて「3つの壁」「指示の徹底」「部下が自主的に動く」テクニックを身につけることができます。

自分のマネジメント軸・持論を作る

・本研修では参加者が海外スタッフに向き合う際の自らのマネジメント方針を持論・アクションプランとしてまとめ日々実践に繋げることをゴールとします。

参加者の声

「外国籍社員の方々の思いや悩みに関してより深く理解できました。」

「当社に入社している外国人社員は、日本語が堪能な人間が多いため、下手をすると相手の気持ちを理解していない上司となってしまうところだったと感じた。」

「実際にロールプレイ等で体験してみて、外国籍部下だけでなく日本人の部下に対してどう接していけば良いかという点でも大変勉強になりました。今後のマネジメントに大変参考になると感じました。」

「他社の同様な立場の方々と意見交換ができ、また講師の方の適切なアドバイスにより、有意義な講義でした。」

「外国人社員、とひとくくりにするのではなく100人いれば、100通りの対応」という研修の一番最初に聞いた言葉に共感。上司としての対応に光が見えました。」

特典①

オンライン研修「グローバルマネジメント基礎講座」

定価 20,000 円（2ヶ月受講/1ID・税別）が講座前後2週間受講できますので予習、復習としてご活用ください。

特典②

国別・異文化対応ポイント集とマネジメント自己診断シート

各国のマナーやタブーについて紹介している国別・異文化対応ポイント集を配布します（中華圏、韓国、タイ、ベトナム、ミャンマー、マレーシア、インドネシア、フィリピン、シンガポール、欧米共通、インド、アラブ諸国）

特典③

3名同時受講で大幅割引

通常参加費用 1名/48,000円（税別）ですが、3名一緒に受講の場合、3名/100,000円（税別）の割引対応をしています。ぜひお誘い合わせの上ご参加ください

テーマ	学習内容	テーマ	学習内容
オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 講師、参加者自己紹介 進め方紹介 	上司に求められるマネジメントテクニック②「違い」への対応	<ul style="list-style-type: none"> ■部下と信頼関係を構築し、業務遂行を果たすための「違い」への対応について学ぶ/望ましい行動を強化・徹底し、結果を出すための考え方・コミュニケーション技術を身につける ・違いを価値に変える6段階 ・フィードバックの技術 ・フィードバックロールプレイ
課題整理・共有	<ul style="list-style-type: none"> ■外国籍社員受入にあたっての課題整理と共有を行う ・ライフライン（仕事をする前提の一般適応） ・コミュニケーション（組織文化理解、上司・同僚との関係などの対人適応） ・キャリア（評価方法などの職務適応） ・リスクマネジメント（病気、機密保持への対応などの危機対応） 	上司に求められるマネジメントテクニック③「違い」を価値創造に変える	<ul style="list-style-type: none"> ■部下と互いに提案し合える関係構築のための考え方・技術を身につける ・対話技術 ・対話ロールプレイ
上司に求められるマネジメントテクニック①「違い」を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ■国、社会背景、職場における発想・アプローチの「違い」を理解する ・論点の違い ・仕事観を把握する ・国別・回答傾向 ・外国籍社員が嫌う上司の言動 ・会話タプーへの備え ・「分かる」の3分類 ・上手な聞き方、話し方 ・日本人による日本語注意点 ・多様な人材育成手法 	マネジメント持論作成	<ul style="list-style-type: none"> ■マネジメントに向けての方針を持論・アクションプランとしてまとめ日々実践に繋げる。 ・発表 ※持論シートを作成します。 ・まとめ

午前

午後



【講師】小平達也 グローバル人材戦略研究所 所長
 厚生労働省、文部科学省ほか政府関係機関の有識者会議座長・委員、大学院講師なども務め、幅広く活動。
 グローバル組織・人材マネジメントの領域において講演・研修を多数行なうほか、これまでに150以上の寄稿。日本語、英語、中国語の3カ国語で研修を行い参加者の出身国は日本人を含め25カ国以上に上る。

開催概要

- 【対象者】** 国内において外国籍社員を部下にもつ管理職受入担当者、メンター等
- 【開催日時】** 2016年
- 7月7日（木）、9月15日（木）、12月9日（金）
 - 10:00～17:00（開場/受付開始 9:45）
- ※各回とも同じ内容です。ご都合よろしい回をお選びください。
 ※各回とも定員に達し次第受付終了となります。予めご了承ください。
- 【定員数】** 15名（最小催行人数5名）
- 【参加費用】** 1名 / 48,000円（税別） ※3名一緒に参加の場合 3名/100,000円（税別）
 ※オンライン研修「グローバルマネジメント基礎講座」（定価20,000円）の2週間の受講が費用に含まれています。
※社内研修の検討用に参加希望の研修ご担当者様は参加無料です。
 ※開催2週間前まで（土日祝日含む）のキャンセルは全額返金致します。これ以降は全額を申し受けます。
- 【研修会場】** 東京都港区虎ノ門1-22-14 ミツヤ虎ノ門ビル スタンダード会議室 虎ノ門ヒルズ FRONT 店 5階

持論シート



お客様ご記入欄

<異文化マネジメント研修>に参加します。
【金額】 48,000円（税別） ※追ってご請求書をお送りいたします。

1. 参加希望日		7. ご住所	
2. 申込日			
3. 貴社名		8. メールアドレス	
4. 部署名		9. 電話番号	
5. お役職/ご担当者氏名		10. 通信欄	
6. 公開講座ご参加者氏名 (5.と異なる場合)			

担当：グローバル人材戦略研究所 サービスサポート担当 電話（03-3403-0528）もしくはメール（sales@ja-sol.jp）で受付しております。上記をご記入の上、PDFファイルとして添付していただいても構いません。

グローバル人材戦略研究所